

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	39
実施計画事業名	農業の担い手の確保	担当部署名	農政課	
事業の実施目的及び概要	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐため、関係団体と連携を図り、意欲ある担い手への優良農地の利用集積を進めます。			
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農地中間管理事業の推進に関する法律 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 印西市農業振興地域整備計画	
取組方針	担い手の確保			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者への支援</li> <li>農業版ハローワーク事業</li> <li>農地中間管理事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者への支援</li> <li>農業版ハローワーク事業</li> <li>農地中間管理事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者への支援</li> <li>農業版ハローワーク事業</li> <li>農地中間管理事業</li> </ul>
事業費	9,930千円	9,930千円	9,930千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	新規就農促進事業
	5-1-3	農業振興費	農地中間管理事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・農業次世代人材投資資金 4経営体(うち夫婦型1経営体) 4,822,098円	当初予算	9,930,000円
	・農業版ハローワーク事業研修2回 新規求人登録者 1名 新規求職登録者 19名	予算現額	8,628,000円
	・農地中間管理事業(農地中間管理機構による貸借) 借受面積6ha 転貸面積4ha	決算額	5,200,098円
	・農地集積・集約化対策事業(経営転換協力金) 1人 348,000円	翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	農業次世代人材投資資金事業の周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	農業版ハローワーク事業に係る研修会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
	農地中間管理事業の周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	5				
			目標値					
			実績値					
成果指標	農業次世代人材投資資金交付者数	延べ経営体数	目標値	11	12	13	14	15
			実績値	11				
	農業版ハローワーク事業の求職登録者数	人数	目標値	40	42	44	46	48
			実績値	50				
	農地中間管理事業のマッチング面積	延べ面積(ha)	目標値	70	71	72	73	74
			実績値	81				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐには、新規就農者対策や農地の集積・集約化対策が必要であり、各種事業を実施していくことで、その対策に取り組んでいく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	40
実施計画事業名	農業経営への支援	担当部署名	農政課	
事業の実施目的及び概要	農業経営の安定化を図るため、認定農業者や新規就農者等の担い手に対する栽培施設整備等への支援を行います。 また、農作物被害の防止対策、主食用米の需給バランスを図るための新規需要米等への作付け、家畜の疾病問題等の経営環境面の改善や畜産物の品質向上への支援を行います。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業経営への支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者等への各種補助事業</li> <li>植物防疫事業</li> <li>担い手水田利活用高度化対策事業</li> <li>飼料用米等生産拡大支援事業</li> <li>経営所得安定対策等推進事業</li> <li>農業制度資金利子補給事業</li> <li>家畜伝染病予防事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者等への各種補助事業</li> <li>植物防疫事業</li> <li>担い手水田利活用高度化対策事業</li> <li>飼料用米等生産拡大支援事業</li> <li>経営所得安定対策等推進事業</li> <li>農業制度資金利子補給事業</li> <li>家畜伝染病予防事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者等への各種補助事業</li> <li>植物防疫事業</li> <li>担い手水田利活用高度化対策事業</li> <li>飼料用米等生産拡大支援事業</li> <li>経営所得安定対策等推進事業</li> <li>農業制度資金利子補給事業</li> <li>家畜伝染病予防事業</li> </ul>
事業費	40,485千円	40,485千円	40,485千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	園芸振興事務に要する経費
	5-1-3	農業振興費	植物防疫事業
	5-1-3	農業振興費	多目的水田農業推進事業
	5-1-3	農業振興費	農業経営基盤強化促進事業
	5-1-4	畜産業費	家畜防疫事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	・認定農業者・認定新規就農者連絡会議の開催 1回 ・認定農業者に係る農業経営改善計画認定申請書作成会の開催 10回 ・農用地の利用集積(新規利用権設定面積34ha) ・農業制度資金利子補給 2件 109,600円 ・家畜防疫協会への支援・指導 家畜防疫事業補助金 88,251円 予防接種等 139頭 環境衛生資材配布及び環境指導 6戸 ・畜産の啓発、消費拡大活動 印旛郡市畜産振興協議会負担金 25,000円 ・畜産農家の経営、運営指導 (社)千葉県畜産協会会費 7,800円	当初予算	40,485,000円
		予算現額	158,575,000円
		決算額	151,905,613円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	飼料用米取組への周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	飼料用米取組面積	ha	目標値	65	71	71	71	71
			実績値	534				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	新型コロナウイルス感染拡大による、米価の低迷を受けて、飼料用米取組農家が急増した。
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業者の農業経営の安定化等を図るため、引き続き、各種事業により栽培施設整備や経営環境面の改善、畜産物の品質向上への支援を行っていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	41
実施計画事業名	農業生産基盤の整備		担当部署名	農政課
事業の実施目的及び概要	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、関係団体と連携を図りながら、土地改良施設の改修や農地の面整備等を行う土地改良事業実施主体への支援等により、農業生産基盤の整備に努めます。			
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業生産基盤の整備			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)</li> <li>・国営印旛沼二期土地改良事業</li> <li>・小規模土地改良事業による農業者等への支援</li> <li>・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業</li> <li>・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)</li> <li>・国営印旛沼二期土地改良事業</li> <li>・小規模土地改良事業による農業者等への支援</li> <li>・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業</li> <li>・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)</li> <li>・国営印旛沼二期土地改良事業</li> <li>・小規模土地改良事業による農業者等への支援</li> <li>・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業</li> <li>・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)</li> </ul>
事業費	7,530千円	6,859千円	20,696千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	5-1-5	農地費	土地基盤整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	当初予算	7,530,000円
	予算現額	7,342,000円
	決算額	7,226,986円
	翌年度繰越額	—

・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)の同意徴集の実施  
 ・国営印旛沼二期土地改良事業に係る国等との連絡調整及び地元対応  
 ・小規模土地改良事業補助金 14経営体及び3土地改良区 5,156,652円  
 ・干拓第二工区県営担い手育成基盤整備事業負担金 61,334円  
 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)  
 新規加入支援業務委託 407,000円  
 令和2年度加入分 798,000円  
 令和3年度加入分 804,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	小規模土地改良事業補助金の周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	小規模土地改良事業実施率	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	99				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、引き続き、各種事業による支援等を行い、農業生産基盤の整備に努めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	42
実施計画事業名	農林業を通じた地域振興	担当部署名	農政課	
事業の実施目的及び概要	市民の農業への理解と関心を高めるため、農業に親しむ機会を設けるとともに、地元農産物の消費拡大や安全・安心な農産物づくりに関わる取組を支援します。 また、農村環境を保全するため、農地や用排水施設の管理活動や森林の保全に取り組む活動に対し支援等を行います。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	
取組方針	農林業を通じた地域振興			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払交付金事業</li> <li>環境保全型農業直接支援対策事業</li> <li>産業まつりの開催</li> <li>ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施</li> <li>農産物地産地消推進事業</li> <li>緑化・森林整備活動事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払交付金事業</li> <li>環境保全型農業直接支援対策事業</li> <li>産業まつりの開催</li> <li>ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施</li> <li>農産物地産地消推進事業</li> <li>緑化・森林整備活動事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多面的機能支払交付金事業</li> <li>環境保全型農業直接支援対策事業</li> <li>産業まつりの開催</li> <li>ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施</li> <li>農産物地産地消推進事業</li> <li>緑化・森林整備活動事業</li> </ul>
事業費	35,440千円	35,440千円	35,440千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	多面的機能・環境保全向上対策事業
	5-1-3	農業振興費	産業まつりに要する経費
	5-1-3	農業振興費	ふるさと農園振興事業
	5-1-3	農業振興費	地産地消推進事業
	5-2-1	林業振興事務に要する経費	林業振興事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	多面的機能支払交付金(農地維持支払) 12団体 50,623a 14,295,660円	当初予算	35,440,000円
	環境保全型農業直接支援対策事業補助金 1団体 98a 117,600円	予算現額	30,405,000円
	草深ふるさと農園の管理・運営 290区画中284区画を貸出し。 栽培指導員の配置 2人 115,000円 土地賃借料及び維持管理費用 1,681,415円	決算額	28,892,248円
	きおろし体験農園の管理・運営 芋ほり体験(3保育園、2幼稚園、5小学校、1教育センター、1中学校) 管理業務委託及び維持管理費用 1,340,662円	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	多面的機能支払交付金事業の周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	4				
	ふるさと農園の利用案内	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	農業体験教室の開催(ミニトマト・イモ収穫体験)	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3				
ちばエコ農業の啓発	回	目標値	1	1	1	1	1	
		実績値	2					
成果指標	多面的機能支払交付金事業活動団体数	団体数	目標値	11	12	13	14	15
			実績値	12				
	ふるさと農園利用率	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100				
	農業体験教室の参加人数(ミニトマト・イモ収穫体験)	人	目標値	400	400	400	400	400
			実績値	976				
	ちばエコ農産物認証件数	件	目標値	20	21	22	23	24
			実績値	22				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民の農業への理解と関心や農村環境を保全していくために、引き続き、各種事業に取り組んでいく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	43
実施計画事業名	商工業の活性化	担当部署名	経済振興課
事業の実施目的及び概要	企業経営の安定化、事業継続などが図られるよう市商工会などの関係機関との連携により、企業への支援事業を推進します。また、企業の設備投資や事業の拡大などに向けて、制度融資や利子補給などの経済的支援を行います。 さらに、地域の活性化を図るため、市にゆかりのある地元産品や特産品などを開発するために必要な支援を行います。		
関連施策	【3-2】 商工業の振興	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画
取組方針	商工業の活性化/新たな地元産品の開発の支援		
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する		

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知
事業費	45,284千円	45,284千円	45,284千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業
	6-1-2	商工振興費	中小企業資金融資事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・中小企業資金融資利子補給28件 ・小規模事業者経営改善利子補給39件 ・商工会事業へ補助金の交付 ・商工会経営指導員による相談及び指導1,868回	当初予算	45,284,000円
		予算現額	45,284,000円
		決算額	39,148,099円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	融資についての記事を広報紙・HPに掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	5				
	いんざいふるさと地元産品の広報紙・HP掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
成果指標	中小企業資金融資利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	28				
	小規模事業者経営改善利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	39				
	商工会経営指導員による相談及び指導	回	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
			実績値	1,868				
	いんざいふるさと地元産品の新規登録数	件	目標値	—	—	1	1	2
			実績値	—				
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	いんざいふるさと地元産品についての周知・啓発が不足した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスの影響に対する金融支援として、より低金利な融資制度が設けられていることから、新規の融資の申し込みが減少していると思われる。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	商工会経営指導員による相談及び指導は目標値を上回ることができたが、いんざいふるさと地元産品の周知・啓発は不足した。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	周知・啓発に努め、商工業の振興に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	44
実施計画事業名	創業・起業の支援と企業誘致	担当部署名	経済振興課	
事業の実施目的及び概要	県や商工会、大学などの関係機関と連携し、創業・起業希望者に対して創業セミナーや相談事業などを行い、市内への創業・起業を促進します。また、成田国際空港や都心などへのアクセス性や安全性など地理的優位性を積極的にPRし、誘致活動を推進します。			
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	創業支援等事業計画	
取組方針	企業誘致の実施/創業・起業の支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援</li> <li>・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの後援</li> <li>・創業資金利子補給補助金</li> <li>・アクセス性や安全性など地理的優位性をPRする。</li> <li>・優良企業への誘致活動</li> <li>・市内に進出した企業への新たな優遇制度に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援</li> <li>・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの後援</li> <li>・創業資金利子補給補助金</li> <li>・アクセス性や安全性など地理的優位性をPRする。</li> <li>・優良企業への誘致活動</li> <li>・市内に進出した企業への新たな優遇制度に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援</li> <li>・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの後援</li> <li>・創業資金利子補給補助金</li> <li>・アクセス性や安全性など地理的優位性をPRする。</li> <li>・優良企業への誘致活動</li> <li>・市内に進出した企業への新たな優遇制度に取り組む</li> </ul>
事業費	80,428千円	80,428千円	80,428千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	6-1-2	商工振興費	中小企業資金融資事業
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業
	6-1-2	商工振興費	企業誘致推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援資金利子補給3件</li> <li>・創業支援セミナーの周知2回</li> <li>・創業についての相談及び指導31件</li> </ul>	当初予算	80,428,000円
		予算現額	80,428,000円
		決算額	74,289,399円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの周知	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2				
	地理的優位性をPR	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	0				
	優良企業への誘致活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
成果指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの参加人数	人	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	6				
	創業支援資金利子補給	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	3				
	創業についての相談及び指導	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	31				
	新規企業数(経済振興課調べ)	社	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	152				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、創業塾を中止にしたことによる減。また、印西市商工会が実施する市内空き店舗に出店しようとする者などに対する賃借料補助の実績が2件あった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、創業塾を中止にしたことによる減。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規の融資申し込みが減少したと思われる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市商工会が主催する創業者向けのセミナーなどを周知するほか、創業者向けの融資制度などについて案内をしていく。また、成田空港や都心などへのアクセス性や安全性など地理的優位性をPRし、誘致活動を推進するよう努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	45
実施計画事業名	就労支援の充実	担当部署名	経済振興課
事業の実施目的及び概要	ハローワーク成田などの関係機関との連携を図るとともに、本市の就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」などの就労に関する情報提供の充実を図ります。また、若者、女性、高齢者、障がいのある人等、誰もがそれぞれの意欲や能力を生かしライフスタイルに合わせて働くことができるように、ワークライフバランスや働き方改革について、市民及び企業に意識啓発を図ります。		
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画 創業支援等事業計画
取組方針	就労支援の充実/働きやすい環境づくりの推進		
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する		

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労に関する情報提供</li> <li>就労セミナーの開催</li> <li>就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営</li> <li>ワークライフバランスや働き方改革についての周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労に関する情報提供</li> <li>就労セミナーの開催</li> <li>就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営</li> <li>ワークライフバランスや働き方改革についての周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労に関する情報提供</li> <li>就労セミナーの開催</li> <li>就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営</li> <li>ワークライフバランスや働き方改革についての周知</li> </ul>
事業費	15,257千円	15,257千円	15,257千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハローワーク成田・松戸・船橋の求人情報を提供</li> <li>就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営</li> <li>就労支援セミナー2回</li> </ul>	当初予算	15,257,000円
		予算現額	15,257,000円
		決算額	12,503,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労支援セミナー開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2				
	就労支援に関する情報提供	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	48				
	ワークライフバランスや働き方改革についてのセミナー開催回数	回	目標値	-	1	1	1	1
			実績値	-				
		目標値						
		実績値						
成果指標	就労支援セミナー参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	35				
	新規就労支援サイト登録事業所数	事業所	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	46				
	ワークライフバランスや働き方改革についてのセミナー参加者数	人	目標値	-	20	20	20	20
			実績値	-				
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の拡大のため、就労支援セミナーが中止となった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の拡大のため、就労支援セミナーが中止となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、就労支援に関する情報の提供や就労支援セミナーの充実を図るとともに、ワークライフバランスや働き方改革についても、市民及び企業に意識啓発を図っていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	46
実施計画事業名	シティプロモーションの推進		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的及び概要	地域の貴重な財産である人や自然、文化、産業、都市基盤などの「まちの魅力」を磨き上げるとともに、新たな魅力を創出することにより、選び続けてもらうためのまちづくりを行います。また、効果的かつ積極的に市内外にプロモーションしていくことで、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」につなげていきます。 また、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを受け入れることにより、オリンピック・パラリンピックの機運を高め、異文化理解や国際交流の促進につなげていきます。			
関連施策	【3-4】 定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市シティプロモーションプラン	
取組方針	シティプロモーションの推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>シティプロモーションプランの進行管理</li> <li>シティプロモーション支援業務</li> <li>ふるさと納税を活用した市のPR</li> <li>プロモーションイベントの実施</li> <li>市内外のイベントでのプロモーション実施</li> <li>市のマスコットキャラクターによるPR</li> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック各種競技事前キャンプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シティプロモーションプランの進行管理</li> <li>シティプロモーションコンテンツ支援業務</li> <li>ふるさと納税を活用した市のPR</li> <li>プロモーションイベントの実施</li> <li>市内外のイベントでのプロモーションの実施</li> <li>市のマスコットキャラクターによるPR</li> <li>WEB調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シティプロモーションプランの進行管理</li> <li>シティプロモーションコンテンツ支援業務</li> <li>ふるさと納税を活用した市のPR</li> <li>プロモーションイベントの実施</li> <li>市内外イベントでのプロモーションの実施</li> <li>市のマスコットキャラクターによるPR</li> </ul>
事業費	150,060千円	78,000千円	80,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	2-1-6	企画費	シティプロモーションに要する経費
	2-1-6	企画費	東京オリンピック・パラリンピック誘致等推進に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	市内外へのプロモーションについて、シティプロモーション支援業務による印西市アニメの制作やかるたの制作、イルミネーションイベント「イルミライ★INZAI」の実施、各種イベントでのいんざい君グッズの販売等を行いました。	当初予算	150,060,000円
	また、順天堂大学とプロモーションに関する連携協定を行い、順天堂大学陸上競技部男子駅伝チームのユニフォームに印西市のロゴを表示し、市の知名度の向上を図りました。	予算現額	112,150,000円
	東京2020オリンピックの事前キャンプについては、順天堂大学と連携し、体操競技のアメリカ女子代表チーム、オランダ男子及び女子代表チーム、アイルランド男子選手の事前キャンプを受け入れました。	決算額	106,722,442円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	マスコミへの情報提供	件	目標値	60	63	66	69	72
			実績値	53				
	ふるさと納税返礼品目数	件	目標値	30	32	34	36	38
			実績値	45				
	プロモーション事業数	件	目標値	10	12	14	16	18
			実績値	11				
成果指標	ふるさと納税件数	件	目標値	744	772	805	844	890
			実績値	700				
	シティプロモーション専用ホームページアクセス数	件	目標値	160,000	170,000	180,000	190,000	200,000
			実績値	181,551				
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	返礼品の種類を増やし、市の魅力を持たせることが出来た。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	アニメ等の映像を公開し、アクセス数を伸ばすことが出来た。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	シティプロモーションプランに沿って、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」を目指し、効果的なプロモーションを実施していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	47
実施計画事業名	国際化の推進	担当部署名	企画政策課	
事業の実施目的及び概要	外国人を含めたすべての市民が互いの文化や価値観を受け入れ、理解しあいながら、ともにいきいきと暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていくため、日本人の多文化共生意識の醸成や外国人が安心して暮らせる取組等を推進します。			
関連施策	【3-4】 定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市国際化推進方針	
取組方針	国際化の推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化推進懇談会の開催</li> <li>多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施</li> <li>市民主体の国際理解・交流事業の活動支援</li> <li>外国人市民相談事業の実施</li> <li>外国人市民への生活・行政情報の提供</li> <li>日本語教室の活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化推進懇談会の開催</li> <li>多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施</li> <li>市民主体の国際理解・交流事業の活動支援</li> <li>外国人市民相談事業の実施</li> <li>外国人市民への生活・行政情報の提供</li> <li>日本語教室の活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際化推進懇談会の開催</li> <li>多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施</li> <li>市民主体の国際理解・交流事業の活動支援</li> <li>外国人市民相談事業の実施</li> <li>外国人市民への生活・行政情報の提供</li> <li>日本語教室の活動支援</li> </ul>
事業費	1,346千円	1,380千円	1,380千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	2-1-6	企画費	国際化推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	国際化推進懇談会は新型コロナウイルス感染防止のため1回中止とした。異文化理解講座及び職員研修については、新型コロナウイルス流行時にはオンラインを活用し、予定通り実施することができた。コロナ禍でも感染対策を施し、できる範囲で事業を実施する中で、昨年度に比べると全体的に参加者が増加し、事業にも活気がみられるようになった。	当初予算	1,346,000円
		予算現額	1,286,000円
		決算額	1,113,311円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	国際化推進懇談会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1				
	異文化理解講座の開催	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7				
	職員研修の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
外国人相談の開催周知	回	目標値	12	12	12	12	12	
		実績値	12					
NEWSLETTER及び「外国人のみなさんへ」の発行	回	目標値	24	24	24	24	24	
		実績値	24					
成果指標	異文化理解講座の参加者数	延べ人数	目標値	170	170	170	170	170
			実績値	371				
	職員研修の参加者数	延べ人数	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	28				
	国際理解・交流事業の参加者数	延べ人数 (語学講座は実数)	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	288				
	NEWSLETTERの配布・閲覧件数	件	目標値	2,400	2,410	2,420	2,430	2,440
			実績値	2,955				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	国際化推進懇談会は、新型コロナウイルスの影響により目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	外国人人口は今後も増加が続くと考えられることから、市民と市が連携協力し、多文化共生のまちづくりに向けた取組を積極的に進めていく必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	48
実施計画事業名	観光資源の活用による地域の活性化	担当部署名	経済振興課、企画政策課、都市整備課	
事業の実施目的及び概要	点在する文化財や市を囲む水資源、商業施設を再評価するとともに、地域に眠る観光資源の発掘や新たな魅力を発見します。また、それぞれを結ぶ観光モデルコースやガイドマップなどの充実を図り、市内の周遊や商業施設の誘客を図り、活性化につなげていきます。			
関連施策	【3-5】観光資源の活用と観光の振興	根拠法令 関連計画	木下駅南口公共用地活用検討方針	
取組方針	観光資源の活用による地域の活性化 /観光資源の創出/観光資源の周知			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大六天再整備事業(設計業務)</li> <li>観光施設の維持管理</li> <li>観光イベントへの支援</li> <li>観光情報の発信</li> <li>観光モデルコース等の検討・準備</li> <li>観光協会への支援</li> <li>各種協議会との協議</li> <li>(仮称)にぎわい広場整備に係る測量・設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大六天再整備事業(工事)</li> <li>観光施設の維持管理</li> <li>観光イベントへの支援</li> <li>観光情報の発信</li> <li>観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備</li> <li>観光協会への支援</li> <li>(仮称)にぎわい広場整備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設の維持管理</li> <li>観光イベントへの支援</li> <li>観光情報の発信</li> <li>観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備</li> <li>観光協会への支援</li> <li>(仮称)にぎわい広場整備工事</li> </ul>
事業費	67,596千円	935,000千円	130,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大業予算)
	6-1-2	商工振興費	観光資源の管理運営
	6-1-2	商工振興費	観光支援事業
	6-1-2	商工振興費	観光施設維持管理事業
	7-3-3	公園費	(仮称)にぎわい広場整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・花見時期の警備、ホームページ上での広報、仮設駐車場の設置、仮設トイレ設置および管理、ごみ処理等を行った。	当初予算	67,596,000円
	・大六天の例年業務である草刈、清掃を行った。また、令和3年度は法面整備を行い赤道の復元を行うとともに、永治小プール跡地駐車場計画の設計を行った。	予算現額	36,172,000円
	・きおろし水辺の広場の管理、草刈、植栽剪定を行った。	決算額	34,051,115円
	・観光協会の舟運事業、軽トラ市、フォトコンテスト事業等に対する補助を行った。	翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	観光イベント等に係る観光協会との打ち合わせ回数	回	目標値	3	4	5	6	7
			実績値	3				
	市内外の観光イベント参加回数	回	目標値	3	3	4	4	5
			実績値	5				
	観光モデルコース等の配布総数	冊(年)	目標値	6,000	6,000	7,000	8,000	9,000
			実績値	13,200				
HPやSNS等の活用した情報発信	回	目標値	80	85	90	95	100	
		実績値	92					
観光モデルコース等の作成	コース(延べ)	目標値	-	1	2	3	3	
		実績値	-					
成果指標	観光入込客数	人	目標値	1,060,000	1,070,000	1,080,000	1,090,000	1,100,000
			実績値	1,110,073				
	HPやSNS等の閲覧回数	回	目標値	57,000	58,000	59,000	60,000	61,000
			実績値	155,973				
	観光資源の発掘及び再整備	箇所(延べ)	目標値	-	1	1	2	2
			実績値	-				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナ禍によるリアルイベントの減少に反比例してまっふる印西の配布数が増加したため、観光ブック配布数だけ大幅増となった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	HP閲覧回数の大部分が桜関係のページであり、2年ぶりの桜まつり開催の影響力と、こまめなHP更新の成果が見て取れた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	おおむね計画通り、または目標を上回ったが、自粛緩和の恩恵による一時的な数値増に過ぎないと考えられるため、アフターコロナを見据えた中長期的な事業展開が引き続き必要となる。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実績値が目標値を上回っている指標が複数あるが、コロナの影響による伸びなのか、事業の成果としての伸びなのか判断が難しいため、現行のまま事業を継続し効果を分析する必要がある。